

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
1 家庭へ向けた取り組み	1	10	(1)ブックスタートの推進	子育て支援政策課	ブックスタート事業	「単独型子育て支援センター」を主会場として、絵本などが入ったブックスタートパックをプレゼントするとともに、読み聞かせ方や本の選び方をアドバイスする。	対象者数:10,353人 引換者数:7,182人 引換率:69.4%	B	主会場である単独型子育て支援センターで引換えできなかった対象者への救済措置として、各保育園での配布も実施し、平成28年度当初の数値目標をほぼ達成できたため。	B	引き続き、昨年とほぼ同数の参加数を目指して事業を継続する。	
	2	11	(2)「子どもといっしょに読書タイム」の推進	資料サービス課	「子どもといっしょに読書タイム」の推進	保護者に読書の意義や大切さを伝えるとともに、家庭で実践してほしい働きかけを提案し、呼びかけを行う。	シニア向け世代への読み聞かせ講座の開催 「すくすく読み聞かせダイアリー」の配布 0歳からの読み聞かせ講座の開催	C B B	中央図書館で外部講師による「おじいちゃん、おばあちゃんのための読み聞かせ講座」を開催したが、参加者4人と想定よりも著しく少なかった。 読み聞かせの記録が残せる「すくすく読み聞かせダイアリー」を増刷し、あかちゃんおはなし会等で1,475部配布した。 中央図書館で外部講師による0歳児を持つ親に向けての講座を開催し、69人の参加があった。	B B B	29年度は子どもの読み聞かせを行う大切さを伝えるため、シニア世代にチラシ、ポスター等で啓発を行う。 引き続き、必要に応じて増刷し、配布する。 引き続き、今年度も開催する。	
	3	12	(1)地域の子ども読書活動情報の紹介	子育て支援政策課	「さいたま子育てWEB」等による情報提供	子育てに関する制度をはじめ、地域活動情報、育児サークル、イベントなど様々な情報を提供する。また、メールによる育児相談、書き込み掲示板など、利用者参加型のメニューも用意する。	WEB全体の閲覧数:615,995PV	B	閲覧数の実績について、数値目標を達成できたため。	B	引き続き、昨年とほぼ同数の閲覧数を目指して事業を継続する。	
2 地域での取り組み	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進	生涯学習総合センター	公民館文庫、おはなし会等の実施	※別表に掲載						
	5	13	(3)児童センターでの子ども読書活動の推進	青少年育成課	児童センターにおける読書環境の整備	※別表に掲載						
	6	13	(4)うらわ美術館での子ども読書活動の推進	うらわ美術館	「本の出張授業」の実施	美術館の職員が小・中学校へ出向いて、鑑賞授業の補助をする。	本の出張授業の実施	B	依頼のあった17校(55回、1,690人)で予定どおり実施できたため。	B	各学校の現状に合わせて継続的に実施していく。	
3 本や図書館に関する取り組み	7.1	14	(1)読書環境の整備・充実	資料サービス課	図書館の整備・充実	乳幼児、小・中・高校生の発達段階に応じた収書、調べ学習に対応できる蔵書構成に努める。	児童書の見計らい選定会議の実施	B	児童書の見計らい選定会議を毎週金曜日、年間では49回実施し、子どもの成長に合わせた適切な資料を収集した。	B	引き続き、毎週金曜日に児童書の見計らい選定会議を実施する。	
	管理課			さいたま市図書館施設リフレッシュ計画	図書館施設について、施設の機能を適切に維持し、長寿命化を図るとともに、利用者の安心・安全を確保するため、適切な維持管理や改修工事を計画的に実施する。	図書館では、「さいたま市公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」との整合を図りながら、安全・安心な学習環境を整備するため、施設改修を行った。また、「図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、施設改修を2館行った。	B	設計・工事を予定通り完了することができた。	B	引き続き、リフレッシュ計画に基づき、老朽化した図書館の改修工事等を計画的に進めていく。		
	8	15	(2)本や図書館に親しむイベントの開催	資料サービス課	児童向けイベントの実施	図書館や読書に対する興味や関心を高めるイベントを開催する。	中・高校生向け図書館ボランティア体験プログラムの実施 児童向け行事の開催 児童向け講座の開催	A A B	中央図書館で開催したところ、受付枠55人のうち49人の参加者があり、中・高校生への図書館利用促進の働きかけができた。 図書館全館での開催数1,346回(前年度より91回増)、参加人数27,972人。 図書館全館での開催数33回、参加人数650人。	A B B	実施館を6館(中央、大宮、春野、与野、桜、武蔵浦和)に増やして開催する。 引き続き、各館で児童向け行事を開催する。 引き続き、各館で児童向け講座を開催する。	
	9	15	(3)本や図書館に関する情報発信の充実	資料サービス課	児童向け刊行物の発行	ブックリストや情報誌を作成し、本の情報などを提供する。	「本は王さま2017」の作成 とよ丸しんぶん(年4回)の作成 はび(年4回)の作成	B B B	年度内に4,200部を作成。ホームページにも掲載し、おすすめの本の情報提供を充実させることができた。 年度内に各2,000部を作成し、配布。ホームページにも掲載し、おすすめの本の情報提供を充実させることができた。 年度内に各2,000部を作成し、配布。ホームページにも掲載し、おすすめの本の情報提供を充実させることができた。	B B B	「本は王さま2018」を年度内に4,200部作成する。 引き続き、年4回の作成・配布を行う。 引き続き、年4回の作成・配布を行う。	

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
3 図書館での取組	10	15	(4)さいたま市ゆかりの児童書の収集と紹介	資料サービス課	「さいたまゆかり」コーナーの充実	石井桃子生誕110周年記念イベントの開催	A	中央図書館で開催。ギャラリートーク、読み聞かせ、本、手稿、写真の展示を実施し、240人の来場があった。	C	周年記念イベントとしては終了。		
						瀬田貞二生誕100周年記念展示の実施	B	さいたま市図書館で瀬田貞二生誕100周年記念展示と題して「子ども読書の日」を含めた同期間に瀬田貞二関連本の展示等を実施した。	C	周年記念展示としては終了。		
						さいたまゆかりの児童文学に関する講演会講演会の開催	B	瀬田貞二生誕100周年記念に関する講演会を開催し、46人の参加があった。	A	中央図書館開館10周年記念イベントの一つとして、さいたまゆかりの児童文学に関する講演会を開催予定。		
	11	16	(5)障害のある子どもへのサービスの充実	資料サービス課	バリアフリーサービス	ボランティア団体による点訳絵本の作成	B	中央図書館のボランティアが作成した点訳絵本26冊を貸出用資料として受け入れた。	B	引き続き、ボランティアによる点訳絵本の作成を進めていく。		
						特別支援学校等訪問・招待おはなし会の実施	B	特別支援学校等障害のある子供たちに向けたおはなし会を7館で計18回実施した。	B	引き続き、依頼に応じて行う。		
	12	16	(5)多文化・多言語サービスへの取組	資料サービス課	多文化・多言語サービス	日本語を母国語としない子どもへのサービスとして、児童向けの外国語資料の収集や多言語によるおはなし会を開催する。	B	さいたま市図書館で多言語のおはなし会を4館で9回開催し、合計456人の参加があった。	B	引き続き、各館で多言語のおはなし会を開催する。		
						外国語児童書の展示	B	外国語児童書の展示を9館で9回実施した。	B	引き続き、各館で外国語児童書の展示を実施する。		
	13	16	(7)学校図書館への支援の充実	北浦和図書館	学校図書館支援センター事業	学校図書館向け図書の団体貸出の実施	B	貸出点数が昨年度と比べ195点増加した。	A	小・中学校及び特別支援学校、教育相談室に加え、市立高校の団体貸出要求にも応えていく。		
						学校図書館からのレファレンス対応	B	申込みのあったレファレンスすべてに回答した。	B	平成29年度においても継続していく。		
						学校図書館を充実させる取組	A	新たな取組としてブックトーク原稿を、さいたま市立教育研究所HPの市立図書館のページに掲載した。	B	読書活動に関する情報や学校図書館を充実させるための資料の提供を継続していく。		
	14.1	16	(8)学校との連携の推進	資料サービス課	学校との連携推進	読書手帳の作成・配布	B	「としま丸どくしよてちょう」の増刷に加え、「3～6年生向けとしま丸読書手帳」を新たに10,000部作成し、図書館と学校で配布。また、教育研究所に依頼して校務用コンピュータにも掲載した。	B	引き続き、必要に応じて増刷、配布する。		
						職場体験学習の生徒の受入れ	A	学校からの依頼に応じて、職場体験学習を実施。受入れ件数105回(14回増)で合計人数は215人。	B	引き続き、学校の依頼に応じて行う。		
学校訪問(ブックトークや読み聞かせ)の実施						A	学校からの依頼に応じて、学校訪問を実施。合計90回(前年度より13回増)、人数は3,699人。	B	引き続き、学校の依頼に応じて行う。			
学校招待の実施						A	さいたま市図書館23館で図書館見学やまち探検で来館した児童に対し、図書館オリエンテーションを実施。合計183回(前年度より19回増)、人数は4,191人。	B	引き続き、学校の依頼に応じて行う。			
14.2			大宮西部図書館	小・中学校向け学級文庫用図書の貸出	身近に本がある環境を作り不読者の割合を減らすため、学級単位で利用する図書のセットを作り対象の学年に対して学級数分のセットの貸出しをします。	A	平成28年度は中学校24校に加え、新たに小学校20校に対して貸出しを実施	A	新たに小学校を対象に加え、各校へ貸出しを実施できたため。	A	平成29年度は中学校20校、小学校26校への貸出しに加えて、特別支援学校2校に貸出しを行う。	
15	17	(9)保育所・幼稚園との連携の推進	資料サービス課	保育所・幼稚園との連携推進	保育所・幼稚園おはなし会の実施	A	保育所・幼稚園に対して訪問・招待おはなし会を91回(前年度より29回増)実施し、7,083人の園児の参加があった。	B	引き続き、保育所・幼稚園に対しておはなし会を実施する。			
					保育所・幼稚園団体貸出の実施	A	保育所・幼稚園に対して全館で12,953冊団体貸出を実施した。また、新たに市内の私立幼稚園103園に向けて「団体貸出のごあんない」を作成し、配布した。	B	引き続き、保育所・幼稚園に対して団体貸出を実施する。			

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

部分については、記入不要です。
変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
	16	17	(10)子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援	資料サービス課	子どもの読書活動推進に関わるボランティア支援	子ども読書に関わるボランティアのための情報提供、講座の開催等ボランティア支援を行う。	「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」の作成	A	「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」を年度内に3,000部作成した。	B	市民のほか市外からも問い合わせを受けるなど反響があり、今年度は「続・ボランティア向け読み聞かせブックリスト」を年度内に作成する。	
		17	(11)児童サービス担当職員の養成	資料サービス課	児童サービス担当職員の研修	児童サービス担当職員研修の実施	児童サービス担当職員研修を年4回実施	B	各館計29回実施し、合計588人の受講があり、読書ボランティアの養成と支援を進めることができた。	B	引き続き、ボランティア向け講座を開催する。	
4 学 校 で の 取 組	18	18	(1)学校図書館の環境整備	指導1課	学校図書館の環境整備	児童生徒の主体的な読書活動や学習を支援できるように図書配架、推薦図書の展示、室内レイアウト等の環境整備に努める。	各学校における学校図書館環境整備	B	全ての市立小・中学校において年間を通して利用しやすい学校図書館づくりが行われた。	B	引き続き、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての環境づくりを進める。	
	19	18	(2)読書習慣の形成と自主的な読書活動の活性化	指導1課	読書に関する取組の充実	児童生徒の読書への関心を高め、読書活動の推進を図る取組を行う。	各学校における読書イベントや継続的な読書指導の実施	B	全ての市立小・中学校において「子ども読書の日」「読書週間」に関わる読書イベントや独自の読書指導の工夫が行われた。	B	引き続き、研修会等を通して実践紹介や情報交換を行い、取組を充実させる。	
	20	19	(3)学校図書館を活用した授業などの学習指導の充実	指導1課	学校図書館を活用した授業の充実	学校図書館の機能を活用し、児童生徒の主体的で意欲的な学習活動を支援する。	各学校における学校図書館や図書資料を活用した授業の実施	A	市立全小・中学校における学校図書館や図書資料を活用した授業の総時数が、平成27年度に比べ3割以上増加した。	B	引き続き、研修会等を通して実践紹介や情報交換を行い、学習活動を充実させる。	
	21	19	(4)学校図書館コンピュータの整備による機能的な学校図書館運営の支援	教育研究所	学校図書館のICT環境整備	順次耐用年数を経過した学校図書館コンピュータの入替えを行うとともに、平成31年度には、学校図書館コンピュータのセンターサーバ入替えを行い、機能的な学校図書館運営に努める。	耐用年数を経過した市立小・中・特別支援学校74校の学校図書館コンピュータの入替え。	B	耐用年数を経過した市立小・中・特別支援学校74校の学校図書館コンピュータの入替えを計画通り行った。	B	耐用年数を経過した市立小・中・特別支援学校50校の学校図書館コンピュータの入替えを行う。	
	22	19	(5)学校図書館ネットワークの充実	指導1課	学校図書館資源共有ネットワーク事業	学校と公共図書館、教育研究所を結ぶネットワーク便を運行する。	市立学校と教育研究所、公共図書館を結ぶネットワーク便を運行する。	B	ネットワーク便の年30回の運行、運搬量上限の引上げを行った。	A	ネットワーク便の運行を年33回に増やすとともに、巡回場所に市立高等学校4校を加える。	
	23	20	(6)保護者や地域のボランティアとの連携による学校図書館の充実	指導1課	学校図書館における保護者や地域との連携	保護者や地域と連携し、学校図書館の環境整備や児童生徒の読書活動の推進を図る。	各学校における学校図書館環境整備や読書活動におけるボランティアの活用	B	市立小・中学校合わせて96校がボランティアを活用した取組を行った。	B	引き続き、保護者や地域のボランティアとの連携を図る。	
	24	20	(7)「子ども読書の日」に関する取組の充実	指導1課	「子ども読書の日」に関する取組の充実	学校における「子ども読書の日」に関する意識を高め、取組を充実させる。	各学校における「子ども読書の日」に関わる読書イベントの実施	B	全ての市立小・中学校で「子ども読書の日」に関わる取組を行った。	B	引き続き、研修会等を通して情報交換を行い取組を充実させる。	
	25	21	(8)市立高等学校の読書活動の推進	高校教育課	市立高等学校の読書活動の推進	高校生の読書離れの対策を市立図書館と連携して取り組んでいく。	各学校における読書推進キャンペーン等の開催	B	各高校で図書委員のおすすめ本を紹介する冊子の作成、紹介文を添えたおすすめ本の展示を行った。	B	各学校において、年度末までにおすすめ本について紹介する機会を設ける。	
						彩の国ビブリオバトルへの参加	B	市教育委員会から各高校へ参加への案内を通知し、浦和高校と大宮北高校が参加した。	B	6月に各学校へ案内を通知し、参加を呼びかける。		
	26.1	21	(1)絵本に親しめる環境づくり	保育課	絵本等の読み聞かせの充実	日常の保育の中に、絵本等の読み聞かせの機会を多く作る。	毎日の保育の中で、絵本の読み聞かせを実施した。	B	日常的に絵本に親しみ、子どもの世界が広がった。	B	絵本の読み聞かせや、物語の世界に親しむとともに、児童の想像力を養い、豊かな言葉の獲得につなげていく。	
	26.2	21		幼児教育センター付属幼稚園	絵本等の読み聞かせの充実	保育の中に、絵本等の読み聞かせの機会を多く作り、子どもたちが自由に絵本に触れられる、表現することや想像する楽しさ、言葉や文字への関心を高める環境づくりに取り組む。	絵本や紙芝居の読み聞かせの実施 絵本の貸出しの実施	B B	日々の保育の中で読み聞かせを行った。 毎週金曜日に絵本の貸出しを実施した。	B B	昨年同様に実施する。 昨年同様に実施する。	

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

部分については、記入不要です。
 変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
5 保育園や幼稚園での取組	27	21	(2)保護者へ読み聞かせの大切さを発信	保育課	保護者への啓発	読み聞かせの大切さのほか、1日保育士体験を通した親子のかかわりの楽しさを伝える。	1日保育士体験・保育参加で保護者に対して絵本の読み聞かせ体験を行った。	B	絵本を通して、家庭における親子の会話や触れ合う時間が増えた。	B	1日保育士体験・保育参加で、保護者に絵本等の読み聞かせを体験してもらい、体験を通して子どものかかわりの楽しさを伝えていく。	
	28.1	21	(3)地域との連携推進	保育課	図書館・公民館や地域のボランティアを保育所との連携	図書館職員による読み聞かせ等の実施(32園)	A	昨年度25園より、実施園が128%増加したため。	B	昨年よりもやや上回る園数を目指して、事業を継続する。		
						地域のボランティアによる読み聞かせ等の実施(30園)	A	昨年度13園より、実施園が230%増加したため。	B	昨年よりもやや上回る園数を目指して、事業を継続する。		
						図書館での絵本の貸出しの利用	B	図書館と連携を図り、絵本等に親しむことができた。	B	引き続き、絵本に親しむ機会を設けていく。		
	28.2	21	(3)地域との連携推進	保育課	地域支援事業の充実	保育所の地域支援事業を充実を目指す。	地域子育て支援センターに来園した親子に、絵本・紙芝居の読み聞かせを実施した。	B	地域子育て支援センターに来園した親子が、読み聞かせを楽しみにしていた。	B	地域子育て支援センターにて、読み聞かせの時間を設け、親子ともに楽しめる時間をつくる。	
地域子育て支援センターにて、育児についての専門書を紹介するなど、来訪者の育児不安の解消に努めた。	B	地域子育て支援センターに来園した保護者が、気持ちに余裕をもって、子どもに接する姿をみることができた。				B	地域子育て支援センターにて、育児についての専門書を紹介し、育児不安の解消に努める。					
29	21	(4)保育士などの資質向上	保育課	職員研修の実施	保育士の資質向上のため、読み聞かせなどの研修会を実施する。	紙芝居をテーマにした研修会の実施(年1回)	B	研修で学んだことを、保育実践で活かすことができたとともに、資質向上につながった。	B	引き続き、今年度も紙芝居をテーマにした研修を実施する。		
計画の進行管理	30	9	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	資料サービス課	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	事業実施調査を毎年実施し、事業の充実を図る。	改訂版計画上の事業実績と第三次計画上の事業実施予定の調査を行った。	B	例年どおりの日程で調査を行うことができた。	A	結果の公表も視野に入れ、様式を変更して調査を行う。	
	31	9	読書についてのアンケート調査(市立小・中高対象)	資料サービス課	読書についてのアンケート調査	小・中学校の読者調査の実施	B	教育委員会内の調整により、調査方法を変更し、さいたま市学習状況調査で実施した。調査手法は抽出調査から全校調査に変更となった。	B	設問を一部変更して引き続き、調査を行う。		
						平成28年度高校生の読書アンケート(第1回)の実施	B	年度内に高校生の読書に関するアンケートを実施し、加えて集計、結果公表を行った。	B	設問を一部変更して引き続き、調査を行う。		
※上記以外に、子ども読書に関する事業の実施がある場合は、下の行に追記してください。												